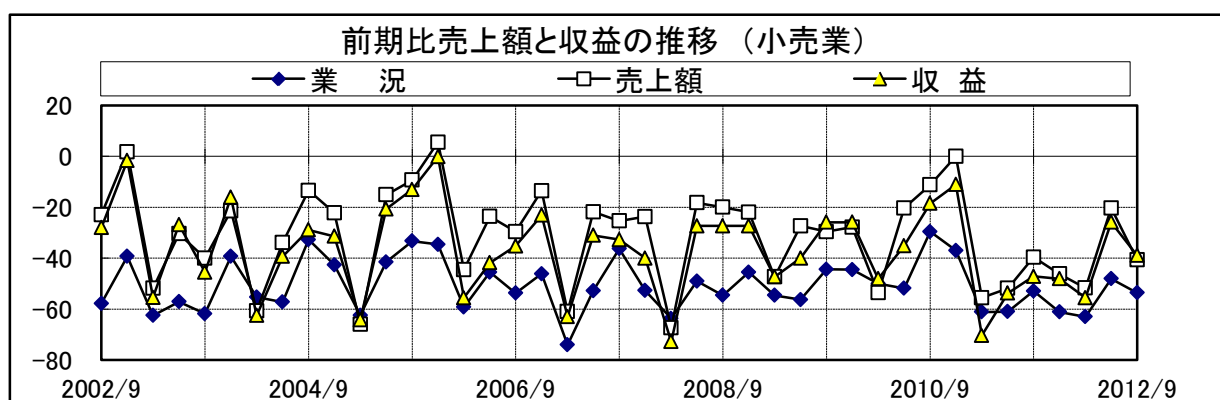


小 売 業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-61.1	-63.0	-48.1	-40.7
売上額	-46.2	-51.7	-20.3	-22.3
収 益	-48.1	-55.5	-25.9	-25.9

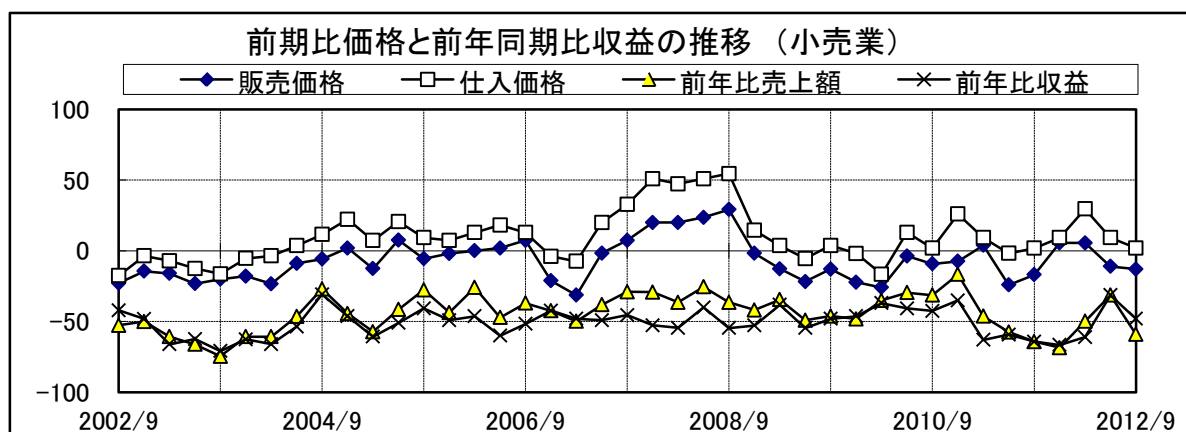
今期の業況判断DIは△48.1と、前期比14.9ポイント上昇した。地区別にみると、浦河地区で下降し、静内、三石、様似、広尾地区では上昇している。売上額判断DIは△20.3と、前期比31.4ポイント上昇した。収益判断DI△は25.9と、同比29.6ポイント上昇し、価格低下基調を弱めている。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	5.5	5.6	-11.1	-16.7
仕入価格	9.3	29.6	9.3	-5.6

販売価格判断DI△11.1は、マイナスに転じ、前期比16.7ポイント下降した。仕入価格判断はDI9.3と、前期比20.3ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、衣料品は販売・仕入価格ともに下降し、家電品では販売・仕入価格ともに上昇している。食糧品は販売価格で上昇、仕入価格では下降となっている。



雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-5.6	-20.4	-11.1	-14.8
人手状況	-5.5	-3.7	-3.7	-5.5

残業時間判断DIは△11.1と、前期比9.3ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△3.7と、前期横ばいの値でやや不足感は続いている。

□ 設備投資の動き

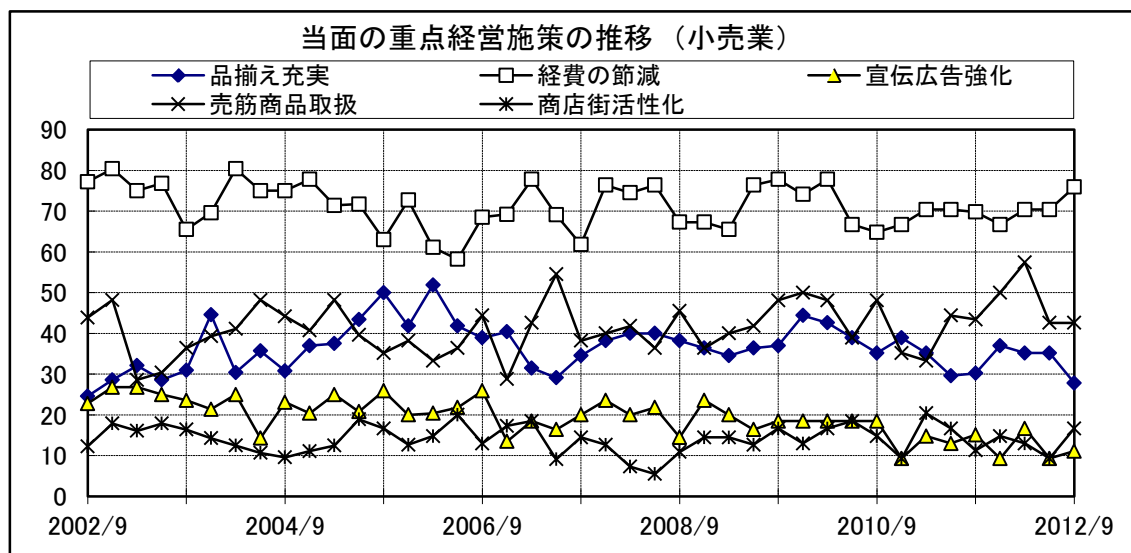
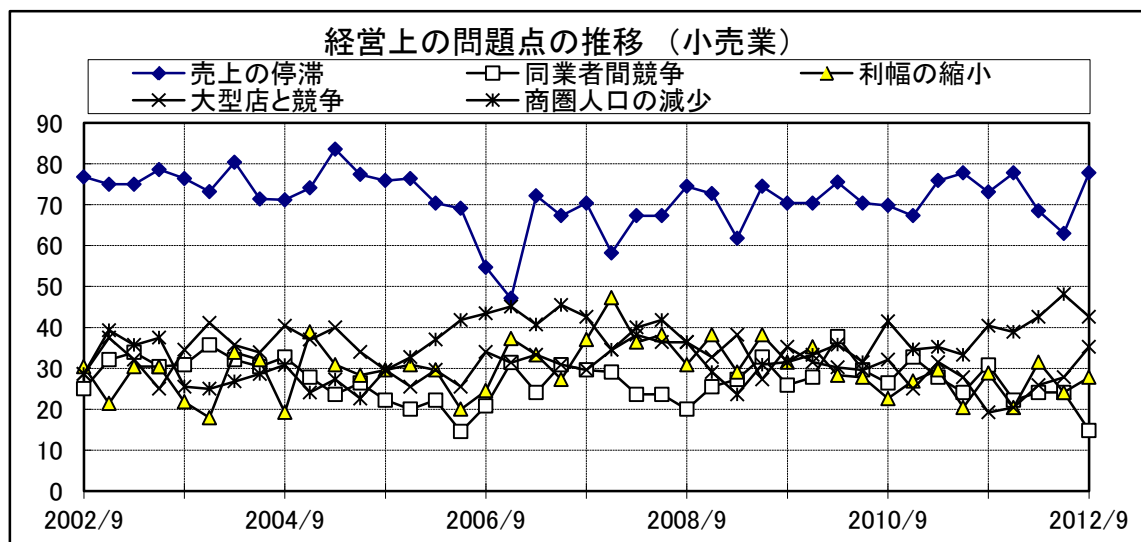
設備投資の充足感を示すD Iは△14.8と、前期△12.9から1.9ポイント下降し、不足感を強めている。

設備投資実施企業割合は9.3%と、前期16.7%比7.4ポイント下降、件数で前期の9社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」をトップに挙げ63.0%、次いで「商圈人口の減少」48.1%、「大型店との競合」・「商店街集客力低下」が27.8%、「利幅の縮小」・「同業者との競合」が24.1%の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ70.4%、次いで「売れ筋商品取扱い」42.6%、「品揃えの充実」35.2%、「仕入先を開拓選別」18.5%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△40.7と、今期△48.1と比べ7.4ポイントの上昇見通しとなっている。予想売上額判断D Iは△22.3と、今期△20.3と比べ2.0ポイント下降の見通しとなっている。予想収益判断D Iは△25.9と、今期と同値の見通しとなっている。予想販売価格判断D Iは△16.7と、今期△11.1と比べ5.6ポイント下降となっている。予想仕入価格判断D Iは△5.6と、今期9.3と比べ14.9ポイント下降し、販売・仕入価格ともに低下基調の見通しとなっている。

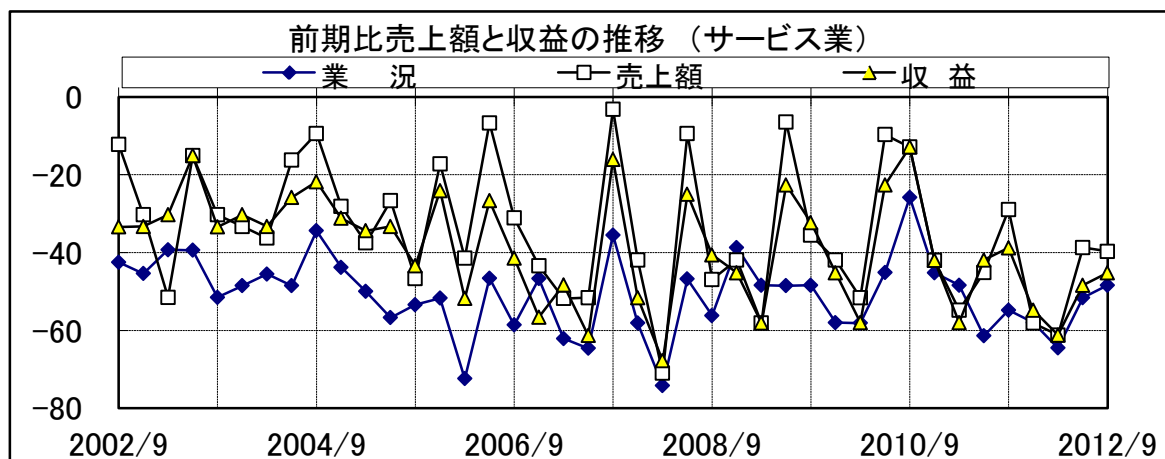
サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-58.0	-64.5	-51.6	-54.8
売上額	-58.1	-61.2	-38.7	-32.2
収 益	-54.8	-61.2	-48.4	-42.0

今期の業況判断DIは△51.6と、前期比12.9ポイントの上昇となった。地区別にみると、三石、様似、えりも地区が上昇し、浦河、広尾地区で下降している。静内地区は横ばいとなった。

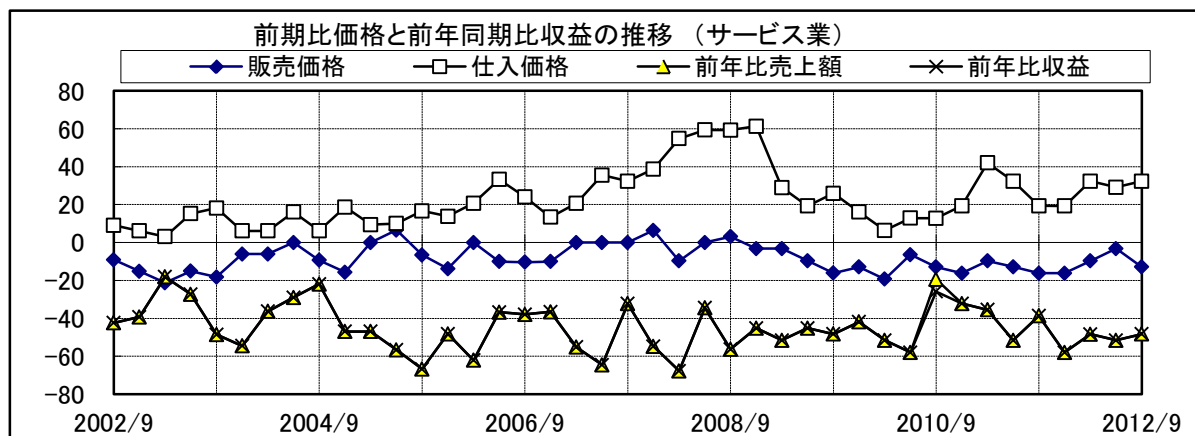
売上額判断DIは△38.7と、前期比22.5ポイント上昇した。また、収益判断DIも△48.4と、同比12.8ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
料金価格	-16.2	-9.7	-3.2	-12.9
材料価格	19.3	32.3	29.1	19.4

料金価格判断はDI△3.2と、前期比6.5ポイント上昇、価格低下基調を弱めている。材料価格判断DIは29.1と、前期比3.2ポイント下降し、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると旅館・自動車整備は料金・材料価格ともに上昇し、洗濯・理美容は横ばいとなっている。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-22.6	-35.5	-25.8	-22.6
人手状況	-9.6	9.6	-16.2	-19.3

残業時間判断DIは△25.8と、前期比9.7ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△16.2と、前期比25.8ポイント下降し、人手過剰感から人手不足感へと変化している。

□ 設備投資の動き

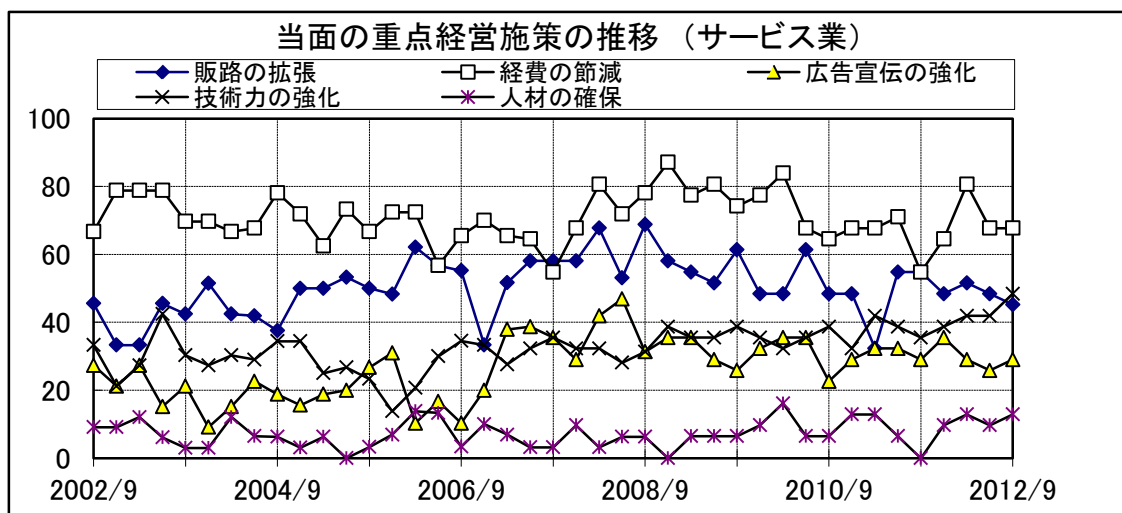
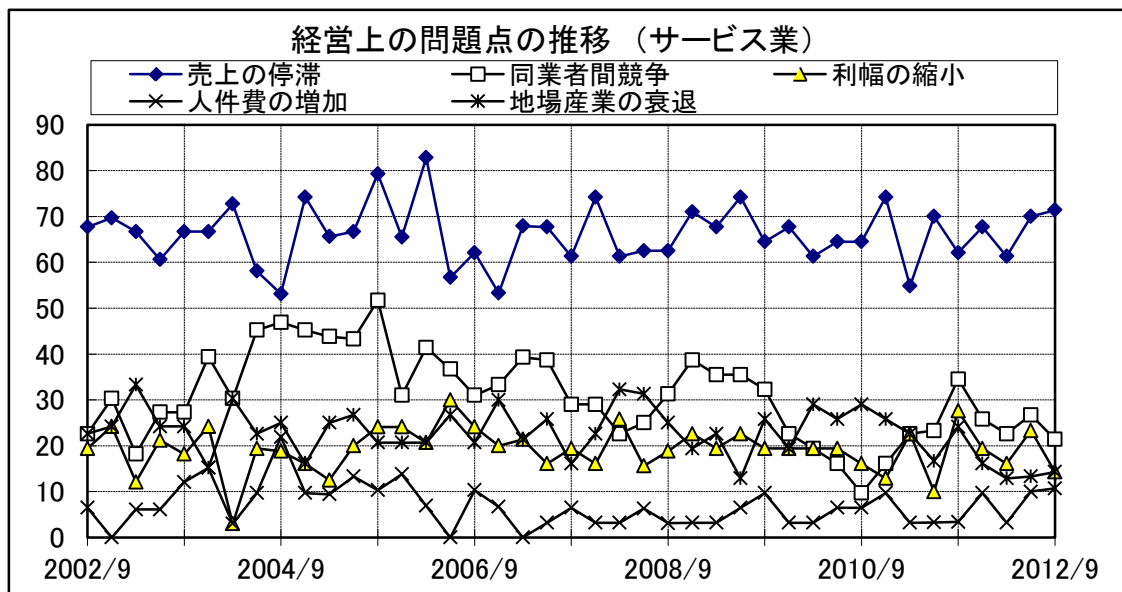
設備投資の充足感を示すD Iは△19.3と、前期△23.3から4.0ポイント上昇し不足感を弱めている。これは過剰とする割合が増え、不足とする割合が減少したことによる。

設備投資実施企業割合は25.8%と、前期12.9%比12.9ポイント上昇、件数で前期の4社に対し8社の実施となった。来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ70.0%、次いで「商圈人口の減少」40.0%、「同業者との競争」26.7%、「利幅の縮小」・「材料価格の上昇」が23.3%の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ67.7%、次いで「販路を拡張」48.4%、「技術力を強化」41.9%、「宣伝広告の強化」25.8%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△54.8と、今期△51.6と比べ3.2ポイントの下降見通しとなっている。

予想売上額判断D Iは△32.2と、今期△38.7と比べ6.5ポイント上昇の見通しとなっている。

予想収益判断D Iは△42.0と、今期△48.4と比べ6.4ポイント上昇の見通しとなっている。

予想料金価格判断D Iは△12.9と、今期△3.2と比べ9.7ポイント下降し、価格低下基調が強まる見通しとなっている。一方、予想材料価格判断D I 19.4は、今期29.1と比べ9.7ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。